

2017年度協定留学プログラム
派遣学生留学状況報告書

非公開希望	項目	内容
	所 属	文学部 ドイツ語圏文化学科 3年（留学年次） 4年（帰国年次）
原則 公開	留学先	※大学名、学部、学科名を記入してください。 ザルツブルク大学 文化社会科学部 ドイツ文学科
原則 公開	留学期間	※実際の留学期間（留学先での授業期間）を記入してください。 2017年 10月 1日 ～ 2018年 6月 30日 出国日 2017年 8月 18日 最終帰国日 2018年 7月 26日

留学の状況について、各項目について書いてください（合計1,500字以上）。これから海外留学をする学生にとって貴重な情報となりますので、なるべく仔細な記述をお願いします。

1. 留学全般について

(1) 留学当初の所感（第1・2回目報告書記載）について、自己評価や、留学前からの意識の変化等

留学前はあまり勉強をするタイプではなかったのですが、留学を通して勉強をするようになったと思います。最初に、ただ授業に出席しているだけでは点を取ることができないという問題に直面しました。お昼ご飯を食べる時間やちょっとした時間さえ惜しむようになり、時間をなるべく有効活用するようになりました。周りの学生も勉強熱心で、勉強と遊びのメリハリがとても上手だと感じました。次に、真面目に勉強をしても、なかなか思うような点がテストで取れないことにも悩みました。たくさんの小テストを経て傾向を掴んでも次の小テストでは全く違う形式のテストになっていたり、ただ覚えるだけでは点が取れないことがわかりました。今までの勉強の仕方を見直すいい機会になったと思います。

(2) 留学前にもっと準備をしておけばよかったと感じること

友人とのコミュニケーションでは、私の場合、ドイツ語よりも英語の方が必要でした。ドイツ語もちろんですが、英語も文法とかだけではなく、単語や会話の勉強をしておくともっと楽しくなると感じました。

2. 留学先大学について

(1) 留学先大学の授業や教授等についての印象や感想

- ・ 講義で、教授が質問すると、学生は真剣に考えて挙手して答えているのが印象的でした。
- ・ 挙手して答えた内容が間違っているにもかかわらず教授は否定せずにフォローをしていてとても授業に参加しやすい環境だと感じました。
- ・ 語学クラスなど人数の少ない授業はアットホームな感じで、教授もユーモアたっぷりなので楽しかったです。また先生方は、わからないところは徹底的に拙いドイツ語でも話を聞いてくれたり、親身になって教えてくださったりしてとても親切でした。

(2) 留学先大学のキャンパスや施設についての印象や感想

大学はキャンパスベースではなく、学部や学科ごとに建物が違い、町中に分散しています。自分の使うキャンパスしか詳しいことはよくわかりませんが、私が使っていた主に語学系の学科のキャンパスは新しく、カフェや食堂、大きな図書館も付いていてとても便利でした。歩いて10分ほどで旧市街地にもいけますし、バス停も近くにあるのでとても通いやすいと思いました。

(3) 留学先大学の留学生に対するサポート体制について

語学面：留学生を対象とした語学補習講座のようなものが授業として或いは授業外で開講されているのかどうか、また開講されている場合は、その時間数や内容、費用等について書いてください。

留学生や学生だけでなく、ドイツ語を外国語として学びたい人全員に向けたコースです。大学のドイツ文学科が運営しているものと、大学の外国語センター(Sprachenzentrum)が運営しているものがあります。私は、ドイツ文学科が開講している授業しか履修したことがないので、外国語センターの授業については詳しいことはわかりませんが、一応聞いた情報を記述します。外国語センターが開講したオリエンテーションウィーク中の授業についても記述します。夏休みや冬休みに特別開講される語学コースはありません。

ドイツ文学科の運営する授業は、2018年夏学期に定員オーバーする申し込みがあり、2018/19冬学期から全体の授業数を減らすこと、また全体のクラス数を減らす可能性が大いにあるという話を授業中に聞きました。2018年夏学期の語学クラスを履修した生徒は優先的に来学期の授業を予約できる制度に変わっていました。交換留学生は優先的に授業を取れるかもしれませんが、もし事前申し込みなどがあれば早めに手続きをすることをお勧めします。

◇ ドイツ文学科の開講するドイツ語の語学コース

- ・ 1コマ90分×週3コマ
- ・ 1学期120ユーロ
- ・ 教科書代別(約50ユーロ)
- ・ レベルの違うクラスを二つ履修した場合でも費用は120ユーロ
- ・ 学期の最初の週にオリエンテーションとクラス分けテストあり
- ・ 事前にインターネットのオンラインフォームから申し込み
- ・ 内容は文法、リスニング、スピーキング、長文などを文法テーマごとに教科書に沿って行う

- ・ プレゼンテーションやグループワークは担当教授によりある場合とない場合がある
 - ・ 口頭試験や小テストも担当教授による
- ◇ 外国語センターが開講するドイツ語の語学コース
- ・ 1コマ90分×週2コマ
 - ・ 1学期90ユーロ
 - ・ 教科書代別
 - ・ 自分で外国語センターに行って申し込み
 - ・ 申し込む前にオンラインでアポイントメントを取る必要がある
 - ・ 先着順
 - ・ ドイツ語以外にも英語、フランス語、スペイン語、イタリア語、アラビア語、クロアチア語、スウェーデン語、ロシア語、日本語が開講されている
- ◇ 外国語センターが開講するドイツ語の語学コース（オリエンテーションウィーク中）
- ・ 学期開始前の2週間のオリエンテーションウィーク中に留学生向けの語学コースがA1レベルとB1レベルのみ開講される
 - ・ 1コマ4時間×週5日（2週間）
 - ・ 2週間120ユーロ
 - ・ 教科書代別（約40ユーロ）
 - ・ テキストの文法テーマに沿った内容
 - ・ 授業外のグループワーク及び授業内のグループ発表あり
 - ・ 申し込み完了から入金締め切りまでが1週間もなく送金が難しい

生活面：生活面のサポートや留学生向けのイベントについて書いてください。

最初のオリエンテーション期間中に大学の国際センターに出向いて学生証や大学について説明を受けます。国際センターの教授やスタッフの皆さんはとても温かく、どんな相談にも乗ってくださるので、困ったことがあったらすぐにメールをしたり、出向くといいと思います。

基本的に「ESN Salzburg」という ERASMUS のコミュニティ団体と「ÖH Uni Salzburg」というオーストリアの大学ごとにある学生サポート団体が留学生向けのイベントを開催しています。最初のオリエンテーションでも説明されると思いますが、フェイスブックページがそれぞれあるのでチェックしてみてください。

資金面：現地で得られる奨学金等の情報があれば書いてください。

奨学金の案内は特にありませんでした。

(4) 留学先大学周辺の治安について書いてください。

治安はかなり良好だと思います。治安が良くないので入ってはいけないエリアなどはありません。

観光地なのでスリに気をつける必要はあります。

夜は大きな公園などはホームレスやヤンキーのような若い子たちが集っているので、通らない方がいいと教わりました。

市内のバスは最終便が早く、ナイトバスなどもほぼないので、9時を過ぎて街で遊ぶ場合は、時刻表を事前に調べるか、タクシーを使った方がいいと思います。

(5) その他留学先大学についての印象や感想があれば書いてください。

学部や学科ごとに校舎が違うのですが、自分が使う校舎と図書館さえ知っていれば特に困ることはないと思います。

驚いたことは、授業中や図書館の自習スペースで寝ている生徒を一度も見かけなかったことです。すごく真面目だと思いました。

(6) 留学先での履修科目等

※本学での単位認定に関係なく、①に派遣先で履修した科目名をすべて記入してください。単位が認定された場合は、その科目の②に本学での科目名を記入してください。行は適宜追加してください。

※成績証明書を添付してください。

①留学先での履修科目名 (単位数)	②本学で単位認定された科目名 (単位数)
Deutsch als Fremdsprache. Mittelstufe II, B1+ (Gruppe B) (ECTS 9)	
Politics, History and Culture. Austria in the 20th and 21st Century (ESTS 3)	
STEOP - Orientierungsvorlesung Germanistik 2	
Deutsch als Fremdsprache, Mittelstufe II. B1+ (Gruppe A) (ECTS 9)	
Deutsch als Fremdsprache, Mittelstufe III, B2 (Gruppe C) (ECTS 9)	
Interkulturelles Praktikum (ECTS4)	

3. 宿舎について

(1) 種類

大学の寮 / アパート / ~~ホームステイ~~ / その他 ()

(2) 家賃

月額 (現地通貨) 約 1000 ユーロ、(日本円) 約 13.5 万円

(3) 食事

食事付き (朝・昼・~~夜~~) / 自炊 / その他 ()

(4) 大学までの交通手段、所要時間

徒歩 / 自転車 / ~~バス~~ / 地下鉄 / その他 ()、計 30 分

(5) 感想、良かった点・悪かった点

良かった点

- ・ 公的な手続き（ビザの取得）や宿題などわからないことはなんでも教えてくれた。
- ・ 車でしかいけないような場所に連れて行ってくれた。
- ・ オーストリアの家庭料理など、レストランでは食べられないようなものも食べることができた。
- ・ オーストリア人の生活を知ることができた。

悪かった点

- ・ 食べたいものが食べられない。特に日本食を食べる機会が少なかったことと野菜を食べることが少なかったことが辛かった。
- ・ 洗濯をするのがとにかく遅く、部屋を片付けることが苦手な家族だったので、生活を合わせることに苦労した
- ・ 関係が悪化することを恐れて何も言うことができず、また 1 人の時間がほとんどなかったのでストレスが溜まった

宿舎について詳しいことは項目 9 に記述します。

4. 費用について

(1) 学 費

(現地通貨) 約 19.20 ユーロ、(日本円) 約 2500 円

協定校留学生のため、現地の大学に学費の支払いをしていません。

大学の G-Port のようなポータルサイトを使ったり、学生証の発行のために、学期ごとに Tuition Fees の 19.2 ユーロを支払います。

語学コースは 1 学期 120 ユーロ、スポーツクラスは 1 学期 25 ユーロです。

(2) 渡航方法と金額

◀飛行機▶/船舶/その他 (), (日本円) 約 50 万円

(3) 生活費

(現地通貨) ◀月額▶・年額 約 2000 ユーロ、(日本円) 約 26.6 万円

※宿舎費を含めた金額を記入してください。

(4) 費用の持参方法

インターナショナルキャッシュカード/~~クレジットカード~~/国際ブランドプリペイドカード
/現金/その他 ()

⇒その方法についての感想、良かった点・悪かった点

良かった点

- ・ クレジットカードだけでなく、現金もそれなりに持っていて良かった。(まだヨーロッパはアメリカのようなクレジットカード社会ではなく、ほとんどのお店で一定の金額以上でないとクレジットカードは使えないと言われるので、現金も持っていた方がいいと思います。)

悪かった点

- ・ 国際ブランドプリペイドカードはほとんど使わなかった。(入金に手数料がかかり、レートがあまり良くないのであまりおすすめはしません。)
- ・ クレジットカードは学生で上限が低いので、意外にすぐに使えなくなったりした。(何種類か持って行くことをおすすめします。UFJ銀行などのデビットカードもいかもしれません。)
- ・ 現地で口座を作らなかったため、現金が手持ちのだけでは不足してしまい、一度親に持ってきてもらった。(口座は作った方が安心かつビザも取りやすいと思います。)

(5) 「学習院大学海外留学奨学金」を受給した場合、その主な支出内容と金額の内訳を受給していません。

5. 保険について

(1) 保険会社名

- ・ AIU 損保保険株式会社 (日本の会社)
- ・ Care Concept AG (ドイツの会社)

(2) 保険料

- ・ AIU 損保保険株式会社: 252,040 円
- ・ Care Concept AG: 420 ユーロ

(3) 加入した保険の種類、内容

- ・ AIU 損保保険株式会社: E82
- ・ Care Concept AG: Care College Comfort

(4) 感想、良かった点・悪かった点

- ・ AIU 損保保険株式会社
良かった点: 24 時間日本語対応のサポートがある。保険の種類が豊富でわかりやすい。
悪かった点: 高い。
- ・ Care Concept AG
良かった点: とりあえずビザ取得のために現地の保険に入る必要があったため加入した保険なので、サポートの内容はまずまずだが安い。
悪かった点: 保険の申請の仕方がわかりにくい。

6. 荷物について

(1) 荷物の送付方法

✍️荷物 / 船便 / SAL 便 / 航空便 / 海外宅配便 / その他 ()

(2) 持って行って良かったと思う物

- ・ iPad…小さめの iPad は空き時間に調べ物をしたり映画や You Tube を見たり色々なことに

使えます。パソコンよりも小さくて軽いので持って行って良かったなと思います。

- ・ 証明写真…第一回目の報告書でも記述したと思いますが、証明写真はプリントアウトしたもの、デジタル化したもの、両方を持って行くといいと思います。何かと使う場面が多いので便利です。推奨サイズはパスポートサイズです。
- ・ ネームペン…現地にも油性ペンはありますが太いものばかりです。細いものは個人的に可着心地やインクの出が良くありませんでした。教科書やノートに名前を書いたり、荷物を送る伝票用にも便利なので、日本のネームペンを一本筆箱に入れておくと思います。
- ・ 湿布…そもそも湿布を貼るという文化がないので売っていません。ちょっとした怪我のためにも、気休めにも持って行くといいと思います。特にスポーツをする人にはお勧めです。
- ・ 日焼け止め…ヨーロッパの人は焼けていることが健康的な印なので、弱い日焼け止めしか使いませんし、売っていません。SPF50 PA+までのものが最大で、それを使用していたら真っ黒に焼けました。日本よりずっと日光が強いので、日本のSPF50+ PA++++のものを持って行って良かったと思います。
- ・ だしの素、七味、生姜チューブ…蕎麦とうどんの乾麺は日本の企業のもので普通のスーパーで手頃な価格で手に入ります。七味と生姜チューブはアジアマーケットでも見かけないので、余裕があれば持って行くといいかもしれません。

(3) 持って行く必要が無かったと思う物

- ・ デジタルカメラ…スマートフォンのカメラに頼って、ほとんど使う機会がなかったです。一眼のカメラなどはアジア人観光客が持っていることが多くスリなどに狙われやすいので、持って行く方は気をつけてください。

(4) 持って行けば良かったと思う物

- ・ 洗顔フォーム…ヨーロッパは洗顔フォームで顔を洗う習慣がないので基本的に売っていません。
- ・ トリートメント…硬水で髪の毛が痛みます。リンスは売っていますが大量に使っても効果は低いと思いました。トリートメントもなくてはならないのですがとにかく高い印象です。
- ・ みりん、酒…アジアマーケットで買えますがとても高いです。送ってもらうにしてもかなり重くなりコストがかかるので、最初に預入荷物として持って行くのが良いかと思っています。

7. 平日および週末の平均的な過ごし方

(1) 平日

10時過ぎに家を出て19時まで大学に行っていました。授業間は図書館で勉強をします。帰宅後は宿題、予習、復習をしたり、地域のバスケットボールチームの練習に参加したりしました。疲れが翌日の授業に影響することが嫌なので、夜に友人と外出することはほとんどありませんでした。

(2) 週末

金曜日が休みだったので基本的に週末は近隣の国に旅行に出かけました。何もない日は家でゆっくり映画を見たり、本を読んだりしました。

8. 後輩へのアドバイス等

- ・ バディ

大学から留学前にもらった書類には、バディを見つけたい人はこちらにメールしてくださいと、バディネットワークのメールアドレスが記載されていると思いますが、私は何の返信もなく見つかりませんでした。どうやら今はバディネットワークの Google フォームから申し込む必要があるみたいです。私は後期（夏学期）に入る前に大学オフィシャルフェイスブックページの「Study Abroad and Exchange University of Salzburg International Office」にシェアされた。Google フォームから申し込み、夏学期にバディを見つけることができました。バディがいると心強いですし、たくさん現地の知らないことを教えてくれたり、語学の勉強にもなると思います。ぜひ、申し込んでみてください。

- ・ メンザカード（食堂カード）

大学のメンザ（食堂）を安い学生料金で使いたい場合にはメンザカードが必要です。大学前の ÖH に学生証を持って行き、メンザカードをくださいと言うともらえます。

9. その他、雑感や要望など書きたいことがある場合は自由に書いてください。

宿舎についてです。

大学の付属の寮はありません。自分で探す必要があります。大学からの案内には OeAD という会社を勧められると思いますが、必ずしもそこの中の寮である必要はありません。

私自身最初は OeAD の運営する寮を申し込んでいました。ザルツブルクで一番新しい寮で駅や中心地からも近く、キッチンやシャワーも自分の部屋に付いているタイプのものです。寮費は月 450 ユーロほどで、仮予約費約 120 ユーロ、本予約費約 150 ユーロや3ヶ月分の寮費、退去後の清掃費 60 ユーロが前払いだったと思います。

実際に鍵を受け取り部屋に行くと、掃除がされているとは思えませんでした。カーテンはボロボロで埃だらけ、虫の死骸や前にいた人の髪の毛などがそこら中にありました。冷蔵庫は 500ml のペットボトル 1 本も入らない大きさで、部屋も狭く、驚きました。ホストファミリーと一緒に OeAD の会社に行きましたが、「気に入らないならキャンセルすればいいじゃない」の一点張りでした。個人的にハウスダストのアレルギーなどがあり、とても1年間住める状況ではないと思ったので親の承諾を経てキャンセルしました。すでに支払いをしていた 20 万円ほどのお金は返ってきませんでした。

現地の友人にも OeAD で申し込んでいる人はいます。満足している学生もいれば、私のように不満がある学生もいます。ここからは聞いた話なのですが、多くの留学生はインターネットで「Salzburg Studentenheim」と検索して学生寮を探していると言っていました。OeAD よりも安くいい部屋が見つかることが多いそうです。

もしくは誰かと一緒に住むシェアハウスのような「WG」に住む学生もいます。留学生と一緒に住みたい場合は、フェイスブックページの「Erasmus Salzburg」のグループなどで随時募集している学生がいるので検索してみてください。

現地のバディは、人にもよりますが、宿舎の相談にもものってくれます。前期の宿舎が気に入らないと言え、オススメの宿舎を教えてくれたり、手続きを手伝ってくれると思います。

約1年間住む大事な宿舎です。しっかり検討して、自分に合った宿舎を見つけて欲しいです！